

新型コロナウイルス感染症の予防のため、3月15日までの図書館（本館・帷子分館・桜ヶ丘分館）の行事・講座は中止します。15日以降の開催についても変更の可能性があるので図書館ホームページをご確認ください。

雑誌オーナーになりませんか

雑誌オーナーになるには？

★図書館本館、帷子分館、桜ヶ丘分館の雑誌コーナーにある雑誌の中から、希望する雑誌を選び、年間購読料をお支払いください。趣味・実用、スポーツ、芸術、文芸など様々なジャンルの雑誌があります。

★最新号の雑誌カバーに広告を掲載できます。表面に事業者名、裏面の全体に広告を載せられます。

費用（年間購読料）はどれくらい？

一部の雑誌について、一年間のおよその費用は次のようになります。

- ◎週刊東洋経済（週刊）37,960円
- ◎プレジデント（月2回）18,720円
- ◎non・no（月刊）7,560円
- ◎ランナーズ（月刊）9,360円



申込みはいつでも可能です。

可児市立図書館ウェブサイト「雑誌オーナー制度」のページから案内と申込書をダウンロードできます。

【詳しくは】 本館 TEL0574 (62) 5120 まで

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

小野寺 史宜

（おのでら ふみのり 1968年千葉県生まれ）
2006年に「裏へ走り蹴り込め」でオール読物新人賞を受賞してデビュー。2008年に「ROCKER」でポプラ社小説大賞優秀賞を受賞。その後の著書は多く、2019年の著書は『ライフ』（ポプラ社）、『まち』（祥伝社）、『縁（ゆかり）』（講談社）など。

2019年本屋大賞2位の『ひと』（祥伝社）を紹介します。

聖輔は母親が急死して天涯孤独になり、経済的に無理だと大学を中退。惣菜屋さんで最後のコロッケを人に譲ったのがきっかけで、その店で働くようになります。そして、いろいろな「ひと」との出会いが「家族はいなくなったけれどひとりきりではない」と感じさせてくれます。

似たような設定の『まち』と同じく、穏やかな小説ですが、逆境にありながら前向きに素直に生き、まわりのひとにもやさしい聖輔が今後どうなるか気になり応援せずにはられない作品です。

あとで出版された『まち』の主人公たちが、この作品の舞台である惣菜屋で買い物をするという著者の粋な計らいもあります。 （本館 可児）

誉田 哲也

（ほんだ てつや 1969年東京都生まれ）
2003年『アクセス』（新潮社）で第4回ホラーサスペンス大賞特別賞受賞。主な作品として『ストロベリーナイト』（光文社）などの「姫川玲子シリーズ」、『武士道シックスティーン』（文藝春秋）などの「武士道シリーズ」等があり、映像化された作品も多数あり。

第162回直木賞候補作品となった、『背中蜘蛛』（双葉社）を紹介します。

東京・池袋で男の刺殺体が発見されたが、目撃者もなく捜査は難航。しかし「あること」がきっかけになり捜査は急転し解決となる。それから半年後、東京・新木場で爆殺事件が発生。こちらも「あること」が転換点なり容疑者が浮かぶのだが、「あること」とは…。

テクノロジーの進化により、私たちは欲しい情報をいつでもどこでも簡単に手に入れられるようになり、生活もとても便利になりました。しかしその反面こちらの個人情報や位置情報なども簡単にわかってしまいます。この作品では、フィクションとして書かれていますが、遠くない未来、この小説のような監視社会になっているのかも、いや既に秘密裏に監視されているのかも想像すると、背筋が寒くなります。

（帷子分館 真鍋）

あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報・博物館			
007.60/フ/	スマホの中身も「遺品」です	古田雄介／著	中央公論新社
	故人のスマホやパソコンなどに遺される「デジタル遺品」が、相続の場で問題化し始めている。SNS、ネット銀行、生体認証、サブスクリプションサービスの浸透を前に、私たちはどう対応し、準備すべきかを伝える。		
069.8/イ/	行きたい!企業ミュージアム		イカロス出版
	一味違う“博物館めぐり”に出かけよう! トヨタ博物館、東芝未来科学館、資生堂企業資料館、東証 Arrows など、日本各地にある、企業が運営する博物館 106 ケ所を紹介する。		
心理・宗教			
159/ハ/	あやうく一生懸命生きるところだった	ハ・ワン／文・イラスト	ダイヤモンド社
	同じ人生なら「一生懸命」より「楽しく」。40 歳を目前にして会社を辞め、頑張らずに生きることを決意した著者が贈る、生きづらさを手放すための言葉の数々。“自分らしい生き方”に出会える人生エッセイ。		
198.2/フ/	ルイス・フロイス	五野井隆史／著	吉川弘文館
	戦国末期に来日した宣教師、ルイス・フロイスは織田信長の知遇を得て京都に南蛮寺を建て、畿内・九州各地でキリスト教を広めた。日本人の文化・習俗に精通し、当時の日本社会を知る上で貴重な記録を残した宣教師の生涯を辿る。		
歴史・伝記・地理			
210.0/ホ/	空白の日本史	本郷和人／著	扶桑社
	その時、実際には何があったのか? 東京大学史料編纂所教授が、これまで多くの人が当たり前のように捉えてきた日本史の中に潜む 9 つの「歴史的空白」を取り上げ、科学的な根拠や論理に基づき検証する。		
289.1/ア/	光秀の歩き方	山本耕／著	岐阜新聞社
	生年や出生地がはっきりしないばかりか、前半生も定かでない謎の武将、明智光秀。美濃から越前、近江、丹波、京都へと舞台を移し、本能寺の変から“三日天下”を経て山崎の敗戦で命を落とすまで、光秀の足跡をガイド。		
289.1/ス/	千畝の記憶	岐阜新聞社編集局「千畝の記憶」取材班／著	岐阜新聞社
	人道の人・杉原千畝は、戦争を知らない世代にも語り継がれていた! リトアニア、イスラエル、ポーランド、八百津、神戸など国内外で取材し、6000 人のユダヤ人の命を救った外交官の足跡を辿る。		
社会			
311.7/サ/	16 歳のデモクラシー	佐藤優／著	晶文社
	佐藤優と埼玉県立川口北高校の 2 年生が、デモクラシー論の古典であるラインホルド・ニーバー著「光の子と闇の子」をテキストに、ときに英語原文にもあたりながら、民主主義について根源的に考える。		
361.8/サ/	7 つの階級	マイク・サヴィジ／著	東洋経済新報社
	ホワイトカラー/ブルーカラー、中流/労働者、こんな分類はもう古い! 経済資本・文化資本・社会関係資本の 3 つの資本を組み合わせて階級を捉える新しい階級分類により、現在のイギリス社会における階級格差を明らかにする。		
368.6/ヨ/	サイバーアンダーグラウンド	吉野次郎／著	日経 BP
	Amazon、食べログの偽レビューの首謀者、英国人スパイの非情な戦争、世論を操るプーチンの懐刀…。サイバー犯罪の裏側を徹底取材し、黒幕の驚きの手口を明かす迫真のルポルタージュ。		
369.4/ア/	ジソウのお仕事	青山さくら／著	フェミックス
	痛ましい子どもの虐待事件報道のたびに上げられる児童相談所=ジソウ。児童福祉司である著者の体験から綴った 50 の物語を紹介し、子ども虐待についても解説。		
自然科学・医学			
404/シ/	自然に学ぶ	白川英樹／著	法蔵館
	創造性、好奇心、洞察力などは、生活に密着した学びによって育まれる。2000 年にノーベル化学賞を受賞した著者が、折々の想いをつづった随筆集。		

487.5/ム/	岐阜県の魚類	向井貴彦／編著	岐阜新聞社
	岐阜県内で捕獲された確実な記録のある魚種を掲載。岐阜県の魚の本当の姿、自然の現状などがわかるように県内で撮影した写真だけを使用し、各魚種の特徴や県内分布等を解説する。新たな種を加え 113 種を収録した第 2 版。		
493.7/ハ/	ボクはやっと認知症のことがわかった	長谷川和夫／著	KADOKAWA
	これまで何千人もの患者を診てきた認知症の専門医は、認知症になって何を思い、どう感じているのか。自身の半生や生き方、日本の認知症の歴史に触れながら、日本人に伝えたい「遺言」を語る。		
技術			
547.5/フ/	5G ビジネス見るだけノート	三瓶政一／監修	宝島社
	「コネクテッドカー」とは？「スマートシティ」が地球を救う？次世代ネットワーク「5G」について、豊富な具体例とイラストでわかりやすく説明する。用語解説も掲載。		
521.8/ハ/	ヘンテコ城めぐり	長谷川ヨシテル／著	柏書房
	桃太郎の鬼が城主を務めた「鬼ノ城」、日本で唯一まん丸の形をした「田中城」…。日本各地のちょっと変わったエピソードや構造、歴史を持つヘンテコなお城の素顔を語り尽くす。		
家政			
596/ム/	村上祥子のシニア料理教室	村上祥子／著	女子栄養大学出版部
	年をとっても元気に動ける体作りは、食事のとり方しだい。シニアに向けた料理教室で人気の「早、うま、簡単」で「栄養しっかり」のレシピを紹介します。食べやすくするヒントも満載。		
596/ホ/	炊飯器レシピ	星野奈々子／[著]	樫出版社
	炊飯器に材料を入れたらスイッチを押すだけで、絶品おかずが完成！煮物からデザート&パンまで、だれでも失敗なく安全に作れる炊飯器を使ったレシピを紹介します。つくりおきレシピ、真空低温調理レシピも収録。		
芸能・スポーツ			
778.8/キ/1	麒麟がくる 前編 (NHK 大河ドラマ・ガイド)	池端俊策／ほか作	NHK 出版
	2020 年 NHK 大河ドラマ「麒麟がくる」の出演者紹介&インタビューや長谷川博己×本木雅弘×池端俊策の座談会などを収録。ほか、舞台地、美術大特集なども掲載。		
786.1/ヒ/	北岳山小屋物語	樋口明雄／著	山と溪谷社
	小屋開きの苦労、山岳遭難救助の実態、登山道の整備、山小屋生活の日常、食事へのこだわり…。北岳の 5 軒の山小屋の小屋番やスタッフへのインタビューを通じて、山小屋の裏側を描き出す。		
日本文学—小説			
913.6/アヘ/	海の十字架	安部龍太郎／著	文藝春秋
	ポルトガルの大型帆船「ナウ」を目の当たりにした日本初のキリシタン大名・大村純忠の決断を綴った表題作や、宗像氏貞、服部友貞、三好四兄弟、津軽為信、長尾景虎らを描いた全 6 篇を収録。		
913.6/アリ/	イマジン?	有川ひろ／著	幻冬舎
	憧れていた映像制作の現場に飛び込んだ、良井良助。専門用語が飛び交う慣れない現場であたふたする良助だったが、作品と向き合う仲間たちの熱気に、焦がれるような思いを募らせ…。		
913.6/イフ/	雲を紡ぐ	伊吹有喜／著	文藝春秋
	壊れかけた家族は、もう一度、ひとつになれるのか？羊毛を手仕事で染め、紡ぎ、織りあげられた「時を越える布」ホームスパンをめぐる、親子三代の心の糸の物語。		
913.6/ウタ/	紙鑑定士の事件ファイル	歌田年／著	宝島社
	どんな紙でも見分けられる男・渡部が営む紙鑑定事務所に、「神探偵」と勘違いした女性が浮気調査の依頼にやって来る。一枚のプラモデルの写真を手がかりに意外な真相にたどり着いた渡部。次に妹を捜す女性が訪ねてきて…。		
913.6/オノ/	踏み跡にたたずんで	小野正嗣／著	毎日新聞出版
	みなさんの身に、みなさんの土地に、何が起きたのですか。夢か現か幻か。土地と人々の記憶が紡ぐ、なつかしくて不可思議な掌編小説集。『毎日新聞』(大分県版・西部版)連載を加筆・修正し単行本化。		

913.6/キノ	まむし三代記	木下昌輝／著	朝日新聞出版
	まむしと呼ばれた斎藤道三の、日ノ本すら破壊する最終兵器「国滅ぼし」とは？ その核心に行き着いた三代目義龍が下した驚愕の決断とは？ 従来の戦国史を根底から覆す長篇時代小説。		
913.6/コン	歌舞伎座の怪紳士	近藤史恵／著	徳間書店
	家事手伝いの岩居久澄が、祖母に頼まれた観劇代行のアルバイト。久澄は徐々に芝居の世界にのめり込んでいく。けれど、一つ疑問があった。劇場でいつも会う親切な老紳士。あの人はいったい何者…？		
913.6/ニレ	終の盟約	楡周平／著	集英社
	旧友の病院に入院していた認知症の父が突然死する。死因は心不全。その裏に隠された、医師だけが実行可能な盟約の存在…。医師の兄と、弁護士の弟は、真相にたどり着けるのか。		
913.6/ハタ	猫君	畠中恵／著	集英社
	20年生きた猫は、人に化けて言葉を操る妖怪「猫又」になる。將軍様の庇護のもと、江戸城内の学び舎「猫宿」で修業に励む新米猫又のみかんたち。猫宿の長は、魔王と呼ばれたあの戦国武将で…。		
913.6/フル	背高泡立草	古川真人／著	集英社
	草は刈らねばならない。そこに埋もれているのは、納屋だけではないから。長崎の島に暮らし、時に海から来る者を受け入れてきた一族の、歴史と記憶の物語。(第162回芥川賞受賞作)		
913.6/ムレ	今日もお疲れさま	群ようこ／[著]	角川春樹事務所
	夕方の閉店間際、シオちゃんは頼んだパンと、会社へのおみやげが入った袋を、両手にいっぱいぶらさげて店にやってきた。アキコはひととおり眺めた後、まず食パンに手を伸ばし…。「パンとスープとネコ日和」第5弾。		
913.6/ヤン	魂の痕(きずあと)	梁石日／著	河出書房新社
	女は、無頼漢に虐待された運命を愛した。だがいま女は、男と、故郷と、決別しようと思う。「血と骨」と一対をなす、実の母親をモデルにした梁石日の小説。		

本館 1 階 展 示 の ご 案 内

■ 2 / 2 9 (土) ~ 3 / 1 7 (火) ■

難病の日図書展

RDD (Rare Disease Day) とは、希少・難治性疾患の患者さんの生活の質の向上を目指した、毎年2月最終日に世界中で開催されるイベントです。難病について知るための本をご紹介します。

■ 3 / 1 8 (水) ~ 4 / 2 3 (木) ■

元久々利まちづくり委員会 活動の軌跡展

景観形成重点地区において景観まちづくりを行う『元久々利まちづくり委員会』を紹介します。まちづくりの軌跡や内部組織“久々利城跡城守隊”の活動写真をご覧ください。



みんなでしりとりしよう

**本のタイトルで
しりとりをして
遊ぼう！
(帷子分館にて)**

本のタイトルでしりとりをします。しりとりがつながるタイトルを言えたら、お渡しするカードにスタンプを押します。スタンプ2つでプレゼントを差し上げます。

期間：2月29日(土)～4月5日(日)

場所：可児市立図書館 帷子分館

対象：どなたでも

しりとりへの参加は1日1回ですが、期間中は何度でも参加できます。言っていたタイトルは館内の壁面に掲示します。

開館時間 【本館】 平日 10:00～19:00、
土日祝 10:00～17:00
【分館】 全日 9:00～17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日
3月 2,9,16,23,27,30日

スマート
フォン用
サイト



「図書館だより」2020年3月号

発行：可児市立図書館 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。